

府中・生活者ネットワーク わくわく通信

NO.127

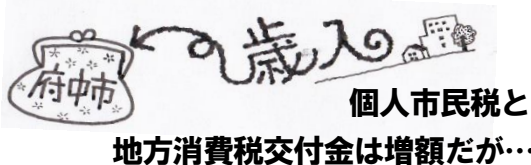
2014年4月21日発行 府中・生活者ネットワーク 発行責任者 重田益美
〒183-0023 府中市宮町2-15-1 柏屋ビル1F T/F 042-360-4443

府中・生活者ネットワークの活動を報告します
Eメール fuchu-snet@ric.hi-ho.ne.jp
ホームページ http://fuchu.seikatsusha.me/
浅田多津子 http://asada.seikatsusha.net/
前田 弘子 http://maeda.seikatsusha.net/
田村智恵美 http://tamura.seikatsusha.net/

2014年度一般会計予算案に 反対しました

2014年は市政施行60周年であり、第6次府中市総合計画の初年度であると市は広報していますが、社会保障経費の伸びや、数々の公共施設やインフラの老朽化に直面しています。そのような財政状況の中、消費税増税による国からの交付金を生活保障や子育て施策の充実などに活用するという明確な方針は示されませんでした。女性施策の予算も十分とは言えません。大規模な学校給食センター建設計画には反対です。

2014年度の予算規模は884億1000万円で、前年度より43億円(4.6%)減っています。府中駅南口再開発補助金・保留床購入や学校耐震改修などの大型投資が減少したことが大幅に減額した理由です。



個人市民税と 地方消費税交付金は増額だが…

【歳入】では「景気は上向き」との見込み、個人市民税の増加が予想されています。しかしここ数年、1人あたりの納税額は減少気味で、低所得者層の割合や、非課税者も増加し、市民生活は厳しい状況です。

国からの地方消費税交付金は大幅な増額が見込まれていますが、これは国が「社会保障の経費に充てる」という名目で行った消

費税の増税により、地方分の算定において府中市への配分額が増加したことによります。



少子高齢化社会に向けた 施策に十分な予算を

【歳出】では民生費(高齢者や障がい者福祉、児童や母子の福祉、生活保護などの経費)が総予算の半分を占めています。「この経費が財政圧迫につながる」と市は言いますが、高齢化が進む中で、医療や介護の費用の増加は必然です。子育て世帯では保育所対策だけではなく、在宅で子育てをする家庭の社会的孤立を防ぐ対策なども急務であり、「少子高齢化社会」を地域で支えあっていくための多様なニーズにこたえる施策が求められます。

これからは「投資的経費」を最小限にし、特に高齢者、子育て世帯や、生活困窮者のための社会保障関連に充てるのが急務です。また女性のDV対策や自立支援をすすめるための拠点となる女性センターへの予算も十分ではありません。

大規模な学校給食センターの 建設には反対

教育費では、学校給食センター建設のための設計委託料が計上されました。調布基地跡地での22000食もの大規模センター建設を進めるためです。食中毒のリスク軽減のために調理を6コースに分けて行なう計画ですが、これでは「大規模一括調理なので効率的」といえるか疑問です。子どもたちの食育には自校式が望ましいのですが、少なくともいくつかの地域に分散させて整備するほうが、防災面でも将来の施設の有効利用にも活かせるはずで

以上のような理由から、生活者ネットワークは2014年度一般会計予算案に反対しました。



▲ソーラーシェアリングが経っても、放射能被害は想像を超え、当事者のお話は心を打つものでした。

原発事故から3年が経っても、放射能被害は想像を超え、当事者のお話は心を打つものでした。

また、少しでも生活の営みを取り戻そうと活動を始めた人もいます。原町区の「えこえね南相馬研究機構」を訪ねました。農地の上3mほどの高さにソーラーパネルを設置し、農業と再生エネルギーの売電事業を共存させる「ソーラーシェアリング」を実践していました。「半農半電」だそうです。まだモデル事業ですが、前向きに研究を続けています。

原発事故から3年を経た福島県南相馬市を視察しました

南相馬市は原発から20km圏内、20~30km圏内、30km圏外と3分割され、放射能汚染への対応にも差があることから住民間の思いも複雑です。南相馬市でも原発に近い区域、小高区で酪農を営んでいたWさん(83歳)のお話を聞きました。

Wさんは「家族で過ごした大きな家があるのに、狭い借り上げのアパートに住むことを強いられる。毎朝見る景色は豊かな田園風景に比べ味気なく、牛を餓死させたことなどを思い出し、悲しみはさらに大きくなる。今でも毎日自宅と牧場に帰っている。息子や孫とは離れ離れになり、地域で支えあって酪農を営んできた仲間とのつながりも戻せないだろう」と、将来ふるさとで家族と暮らせる保証もなく、地域の分断が進む様子を無念そうに話されました。原発事故で住む人のいない家々、耕作できない田畑が広がる様子を見て、取り返しつかない状況であることがわかりました。



田村智恵美 一般質問



すべての子どもが地域で育つ

「子育て」への支援を求めて

待機児童問題が大きく取り上げられる中、就学前児童への制度がこれまでと大きく変わることになる、「子ども・子育て支援新制度」が2015年からスタートします。国は社会保障、特に「子ども・子育て」を優先課題として捉え、消費税率の引き上げ分を財源に充てることを明確にしました。府中市として今後どのような支援事業を行なっていくのか質問しました。

市は事業計画策定のために、独自の調査項目も取り入れ、幅広い世代を対象にした市内7000人へのニーズ調査を行なっています。この調査をもとに今後の保育施設の必要量などが決まります。また府中市は3歳までの在宅での子育て家庭の割合も高く、すでに実施している地域子育て広場活動支援事業などでは、NPO法人や市民ボランティアなども関わり、今後は活動を担う人同士の連携を図りながら地域で支援体制を再構築する考えがあることがわかりました。子どもを育てる環境が変化している中で、不安や困難を抱えて子育てをしている人が増えています。新たな支援制度ができる今こそ、子どもの生き生きの権利を保障する「子育て支援」の視点で子どもと保護者を社会全

体で支えることが必要です。

子育てが孤立化しないよう、虐待や育児放棄などで子どもの未来を奪わないよう、育児を地域に開き、多様な地域資源を活用した府中市独自の施策の推進を求めました。



前田弘子 一般質問



「生活困窮者自立支援法」が生活保護の受給抑制にならないように!

昨年12月の国会で、「生活困窮者」に対する「生活保護に至る前の第2のセーフティネット」支援策を盛り込んだ「生活困窮者自立支援法」が成立しました。自治体には、2015年の4月から生活困窮者向けの新たな相談窓口の設置が義務づけられています。府中市でもここ数年、稼働年齢層の人も、病気や仕事に就けないなどの理由で生活保護を受ける人が増えています。この法律は生活保護の受給抑制につながるという批判がありますが、これまでに市は相談に来た人を生活保護につなげてきたか、今後生活に困窮している人たちの相談体制がどのように変わるのかを質問しました。市は「これまでも相談者は法に基づき適正に保護につなげてきたし、子どもの養育や納税の相談などから生活保護につなげてきた例もあり、生活保護を受給できなかった人のフ

ォーもしてきた」と言います。

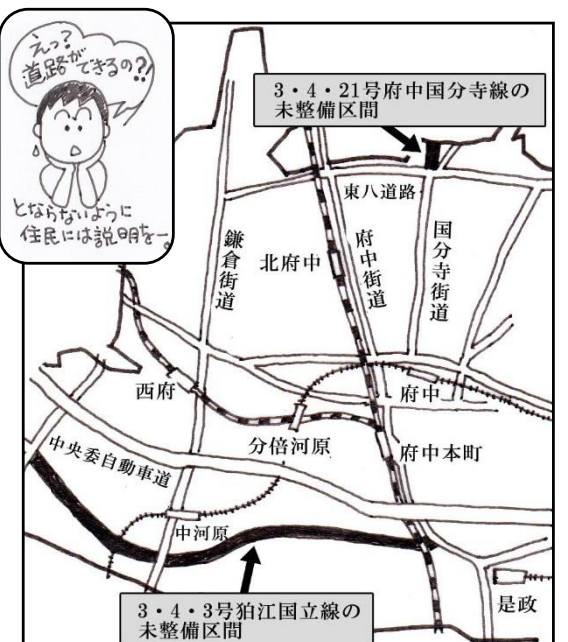
法律では、窓口だけではなくアウトリーチ（支援に向く）体制も求められています。市は「相談体制の構築は生活保護課を中心に進め、市が責任を持って対応するので、生活保護の受給抑制にはならない」と答えました。無理に相談者の就労自立を進めるのではなく、相談者の状況に寄り添う「伴走型支援」を丁寧に行ない、生活保護が必要な人にはきちんと制度につなぐこと、今後は幅広い福祉の総合相談体制を目指すことを要望しました。

浅田 多津子 一般質問



都市計画道路の整備は計画決定前に市民への説明と意見反映を

府中市内の都市計画道路の建設については、約50年前に作られた計画がそのままに至っており、変更や廃止などの見直しはほとんどされてきませんでした。2015年度までの計画で都が進める予定の市内の未着手道路は、府中3・4・3号狛江国立線（是政から四谷の約4キロ）と府中3・4・21号府中国分寺線（栄町から国分寺市南町の約1・2キロ）があります。住民の意見を取り入れて方向性を示すためには2016年度開始の次期計画策定前の今がその時期と捉え、市民への説明や意見を聞く場を設定する考えがあるか質問しました。市は、東京都施行の事業なので関与しないという姿勢でした。都と関係市の間ですでに協議は進んでいますが、当該住民にとって道路建設は大きな問



題です。2010年の府中市都市計画マスタープラン「地域まちづくり方針」で沿道のまちづくりについて不安な声があげられています。また小平市では、昨年都市計画道路の決定後に住民投票が行なわれました。市民生活に大いにかかわる道路整備については住民の考えをよく聞いた上で進めることが基本です。計画の見直しも視野にいれ、住民の意見を反映するよう市は都に申し入れてほしいと要望しました。

わくわくまちづくりトーク

4月25日(金)10:00~12:00

府中グリーンプラザ 講習室

議会の報告とまちづくりについての意見交換など、一緒に話し合いました

わくわくサロン

福祉の何でも相談・おしゃべりの会です。今回のテーマは「一緒に考えよう! 私のための成年後見制度」です。

5月23日(金)府中ネット事務所 14:00~16:00